

麻酔科

患者数実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
のべ入院患者数	836	339	408
年間			
1日平均	2	1	1
外来患者数	2,024	1,798	1,727
年間			
1日平均	8	7	7
症例数			
総麻酔症例数	3,548	3,670	3,546
臨時麻酔	633	608	766
各科の麻酔			
外科	832	818	809
整形外科	634	761	702
耳鼻咽喉科	224	248	250
婦人科	630	684	639
産科			
泌尿器科	379	387	347
形成外科	323	295	327
心臓血管外科	231	240	188
脳神経外科	224	206	186
眼科	0	1	27
麻酔科	8	5	0
精神科	26	10	12
その他	37	15	59
合計	3,548	3,670	3,546
北3病棟症例数			
ICU	278	330	506
CCU	214	229	330
HCU	405	398	385
合計	897	957	1,221
麻酔科外来症例数			
症例数	1,432	1,431	1,488
新患者数	482	469	335
救命救急センター			
一次救急患者	5,267	5,879	5,296
二次救急患者	2,591	2,698	2,705
三次救急患者	1,086	1,119	1,152
合計	8,944	9,696	9,153
CPOA	338	191	220

令和5年度に麻酔科が管理した総麻酔件数は、前年度と同程度であった。新型コロナウイルス感染症の蔓延前に比べると、約1割程度減少したままとなっている。その一方で、臨時麻酔（緊急を含む）は増加した。各科の麻酔内訳では、眼科常勤医の赴任に伴い眼科の件数が増加した。またその他として循環器内科でカテーテル治療時の麻酔も増えていた。急性期重症患者を管理する3北病棟の入室例が大幅に増加した。院内急変症例や令和4年度に新設された救急科により3北病棟で急性期集中治療を受けた症例が増えていた可能性が考えられた。麻酔科外来新患者数の減少は、診療終了にむけたペインクリニック外来の縮小が原因と推察された。救命救急センターの受け入れ件数は、多少の変動はあるがほぼ例年通りであったといえる。

※集計の都合上、北3病棟症例数と救命救急センター受け入れ数の各数字は、麻酔科が管理した症例数のみではなく、年度内のすべての診療科を合わせた診療患者数となります。

(文責/麻酔科 主任部長 宮下 龍)